

9月19日（木）3年生 小笠原流礼法「物の受け渡し」

最初に、「正しい姿勢になってみよう」と先生が話すと、3年生はすぐにぴっとよい姿勢になりました。「手を形や位置（太もの上にハの字において）、背中や背もたれに付けずにピンと伸ばし、男の子は足先を少し開いて座ります。女の子はつま先をそろえます。」一列ずつ確認していくと、さらに良い姿勢になりました。「勉強する気持ちが伝わってきて、すごくうれしいです。」とほめていただきました。

先生から「よい姿勢になると、2つよいことがある」ことも教えていただきました。①健康になる②集中力が高まり、脳の働きが良くなる。



学習する前の渡し方

相手に物を渡すときにも「小笠原流礼法には、相手のことを思い、大切に使ってほしいという気持ちを込めて渡します。」名前ペンやハサミ、ノートなどの渡し方、受け取り方を学びました。どれを渡すときも基本となっていることは、次の4つのことでした。ペンの渡し方と言うと、キャップを取り、ペン先を相手に向けないで立てて持ち、右手の下に左手を添えて、少しペンを傾けて相手を取りやすいように渡しました。

- ① 相手に危険がないように
- ② 両手で（物と相手を）大切にすることが大切
- ③ 相手が取ってすぐ使えるように
- ④ 相手に取りやすいように渡す



ハサミの場合は、刃先は（相手にも自分にも向けないように）左斜めの方向に、相手が指を入れやすいように少し下げた位置で渡しました。

先生の間いかけに答えながら、学習を進め、理解している様子が伝わってきました。また、ペアで受け渡しを練習することができました。